

さらなる飛躍を目指して！ 平成20年度の予算と主な事業について お知らせします

和水町が誕生して3年目の春を迎えました。この2年間は新町の体制づくりや様々な課題に取り組んできました。厳しい財政事情下ではありましたが、町民の皆様の多様な要望にお応えできるよう努力してまいりました。

昨年度は、和水町まちづくり総合計画を策定しました。この計画に掲げる将来像「希望あふれ、人と地域が輝くまち」の実現には、「地域の力を高め、人の誘致と交流を促進し、地域で支え合う」とともに「町民の皆様と行政が協働」して取り組むことが必要です。

そして、町民ニーズや課題に対応すべく各種事業を計画的に推進することとして、予算を編成しています。

平成20年度はどんなことをするの？ 各事業会計別予算

表1

単位：万円

	会 計 名	H20当初予算額	H19当初予算額	増 減 率
1	一般会計	586,498	571,844	2.6%
2	国民健康保険事業会計	152,518	159,340	-4.3%
3	老人保健事業会計	18,767	184,192	-89.8%
4	介護保険事業会計	138,387	139,198	-0.6%
5	特別養護老人ホーム事業会計	46,374	46,135	0.5%
6	町立病院事業会計	88,291	87,786	0.6%
7	簡易水道事業会計	3,972	3,688	7.7%
8	下水道事業会計	8,677	6,319	37.3%
9	特定地域生活排水処理事業会計	5,981	8,531	-29.9%
10	奨学金貸与事業会計	589	545	8.2%
11	住宅用地造成事業会計	5,980	407	1369.3%
12	工業団地造成事業会計	281	143	96.2%
13	春富財産区特別会計	29	36	-19.9%
14	後期高齢者医療事業会計	14,996	0	皆増
	合 計	1,071,340	1,208,164	-11.3%

ここでは、増減の多い会計について、その要因をお知らせします。

③ 老人保健事業会計は、後期高齢者医療制度が発足したことに伴い、多くの事業が熊本県後期高齢者医療広域医療連合に移行することによるものです。

⑧ 下水道事業会計は、公債費（借金返済）や施設管理料などの増加によるものです。

⑨ 生活排水処理事業会計は、浄化槽設置数が減り、工事費の減少によるものです。

⑪ 住宅用地造成事業会計は、新たに平野地区で宅地造成を進めることによるものです。

⑭ 後期高齢者医療事業会計は、平成20年度から熊本県後期高齢者医療広域連合のもとで始まる医療事業会計です。

和水町一般会計予算額は

58億6,498万円

一般会計予算についてその概要をお知らせします。

総予算額は、58億6,498万円で、前年度予算に比べて1億4,655万円(2.6%)の増加です。

歳入(収入)の主なものは、地方交付税交付金が47%を占め、次いで、町債(借金)と町税がそれぞれ15%などとなっています。

図1
歳入

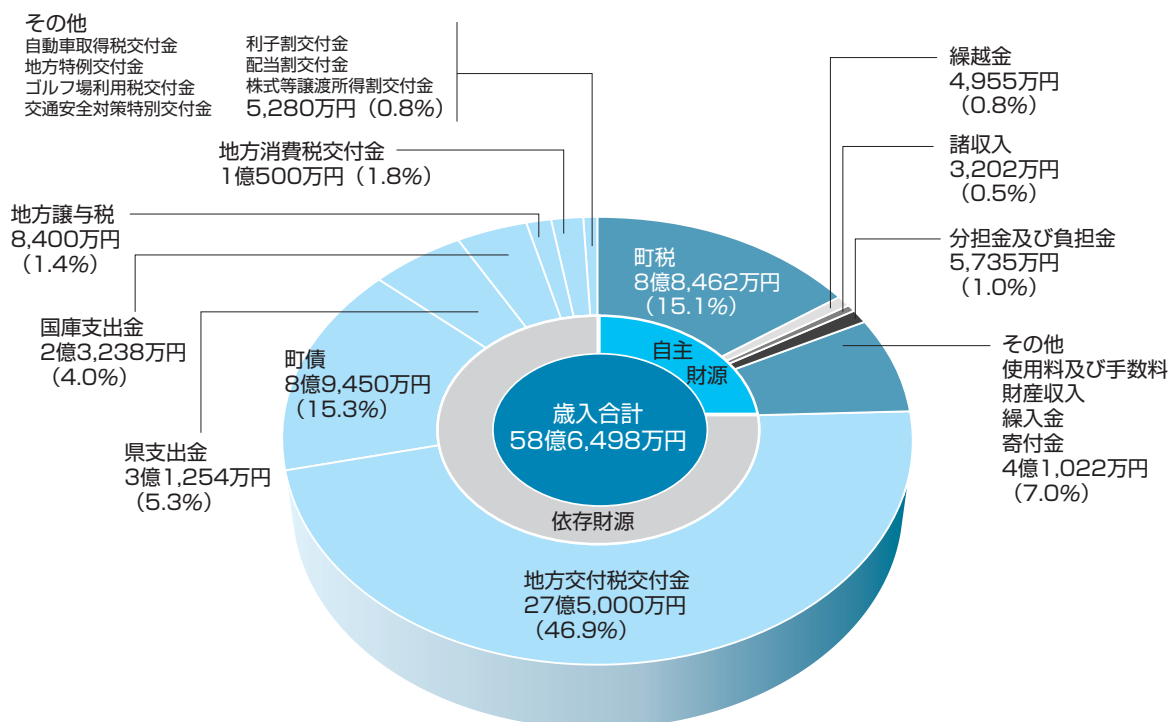


図2
歳出(目的別)

